

## 埼玉県立浦和東高等学校いじめの防止基本方針

### はじめに ～浦和東高等学校いじめの防止基本方針策定にあたって～

本校は、いじめ防止対策推進法第13条に基づき、全教職員が「いじめのない学校の実現」という基本理念に立ち、全校生徒が安全・安心で明るく楽しく元気に勉強や学校行事、部活動などに打ち込めるように本方針を策定する。

### 1 基本的な考え方

本校では、あらゆる教育活動を通じて、基本的な生活習慣や自他を尊重する人権意識の確立及び道徳的実践力の育成を図ってきた。この土壌を活かしつつ、いじめは「人権侵害」であり「どの学校にも、どの学級にも起こり得る」という共通認識に基づき、いじめ防止を包括的に推進する。

### 2 いじめの未然防止のための取組

本校は、いじめ問題に無関係な生徒はいないとの認識に基づき、生徒の発達段階に応じて以下の取組を組織的・計画的に実施するとともに評価・改善を行う。**別紙1**

- (1) 未来の人生に希望を抱き、向上心をもって学習に臨めるように、興味・関心・意欲を高める学習指導を実践する。
- (2) 協力し合うことの大切さを学び友愛を育み良好な人間関係づくりができるようHR活動や学校行事及び部活動を充実させる。
- (3) 人、自然、物などを大切にすることを育む道徳教育を全ての教育活動の中で展開するとともに、年間5回の道徳の授業を充実させる。
- (4) 本県の「いじめ撲滅強化月間（11月）」に生徒を主体とした活動を実施する。

### 3 いじめの早期発見への取組

いじめの態様は様々であり、発見しにくく深刻化するものもあることを認識したうえで、いじめを早期発見するために次に取り組む。

- (1) 全教職員が「いじめ早期発見チェックポイント**別紙2**」等を活用して日常的な観察を行う。
- (2) 年に1回以上のアンケート調査を実施して実態把握に努める。
- (3) 計画的な個別面談を実施する。

### 4 いじめの早期解決への取組

生徒のささいな変化に気づき、関係する情報を教職員が共有して、速やか且つ適切に対応するために次に取り組む。

- (1) いじめ早期発見・早期対応に関する職員研修会を年間行事計画に位置付ける。
- (2) 学年会議、企画委員会等において、問題を抱える生徒について、現状や指導方針に

ついて情報交換し、組織的な指導ができるよう情報共有を図る。

- (3) スクールカウンセラーの活用やいじめ相談窓口の設置により、生徒や保護者がいじめに関わる相談をしやすい教育相談体制を構築する。

## 5 いじめ問題に関わる校内組織

いじめ防止対策推進法第 22 条に基づき、校内に専門委員会を設置するとともに、実効性のある対応をするために以下のように校内組織を整備する。

### (1) 「いじめ防止対策委員会」の設置

#### ア 目的

本校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うことを目的とする。

#### イ 構成員

##### ①次にあげる者を構成員とする

a 校長    b 教頭    c 教務主任    d 生徒指導主任    e 学年主任  
f 養護教諭（1名）    g その他関係職員    h 外部専門家等

ウ 実効性を考慮して対応する内容に応じて構成員を柔軟に変更することができる。  
委員会の構成は校長が行う。

#### エ 具体的な役割

- ①学校基本方針に基づく取組の実施や年間計画の作成・実行・検証・修正
- ②いじめの相談・通報の窓口
- ③いじめに関する情報や生徒の問題行動に係る情報収集と記録の中心的役割
- ④いじめに関する事実確認や指導体制及び保護者や関係者との連携の中心的役割

#### オ 外部専門家等

- ①心理や福祉の専門家、弁護士、医師、教員・警察関係者、PTA、地域の方などを必要に応じて依頼する。
- ②いじめの事例によっては、必要に応じて県が設置する「いじめ・非行対応支援チーム」を組織に加える。

### (2) いじめ発生時の組織対応図 別紙 3

## 6 いじめ防止対策推進法第 28 条における「重大事態」の対応について

### (1) 「重大事態」とは

- ア いじめにより生徒の生命、心身または財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。（生徒が自殺を企図した場合等）
- イ いじめにより生徒が相当の期間（不登校の定義を踏まえ、年間 30 日を目安とする）学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

### (2) 「重大事態」への対応

ア いじめが発生し、校長が「重大事態」であると判断したときは、「いじめに関する学校から教育委員会への報告フロー 別紙 4」に沿って速やかに埼玉県教育委員会

に報告するとともに、「いじめ防止対策委員会」を中心として調査を行い事実の把握に努める。

イ 調査で得た情報は、生徒及びその保護者に提供する。

ウ 事態の解決に向けて、「いじめ防止対策委員会」を中心として関係生徒への指導等を実施し、必要に応じて警察関係者や県の問題調査審議会等の外部機関に協力を要請する。

エ 事態の再発を防ぐために「いじめ防止対策委員会」を中心として指導体制の点検を行い見直しを実行する。

## 7 SNSを通じて行われるいじめへの対策

情報通信サービスの急速な発達と普及に伴い、SNSを通じたいじめが発生する恐れが拡大してきた。本校では、このことを踏まえて情報モラルの向上のため、以下に取り組む。

(1) 教科「情報」、道徳教育、LHR等を通じて年間を通じてネット問題について指導を行う。

(2) 生徒の意識啓発とともに、保護者の意識啓発を進めるために、PTA活動や三者面談等の機会を通じて啓発資料の配付や研修会を行う。

(3) ネット監視活動を行い、いじめが疑われる事実の早期発見に努める。

# いじめ防止指導年間計画

埼玉県立浦和東高等学校

**別紙1**

	職員会議等	研修等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	○職員会議(隔週) いじめ防止呼びかけ  ○企画委員会(毎週) 学年間情報交換  ○各学年会議(毎週) 学級間情報交換  ○生徒指導部会(隔週) 全体の情報交換  ○いじめ防止対策委員会 全体委員会(年2回) 事例委員会(臨時)	基本方針確認・研修	・新入生の中学校との情報交換  ・全校・学年集会での講話 (校長、生徒指導・学年主任)	「わが子を語る」(新入生)  学習実態調査
5月			・新入生オリエンテーション ・学習・進路オリエンテーション	
6月		・遠足(1学年) ・進路見学会(2学年) ・進路相談会(3学年) ・体育祭 ・道徳授業		
7月		・小学校との交流事業 (まなびあい)	3者面談 授業公開週間	
8月		・薬物乱用防止教室 ・終業式講話	生活アンケート	
9月		・夏季進路補講 ・部活動(夏季合宿など) ・保育体験、看護体験等		
10月		・始業式講話 ・東雲祭 ・道徳授業		
11月		・道徳授業	《いじめ撲滅強化月間》 ・いじめ撲滅行動宣言 ・学校保健委員会	授業公開週間
12月		・職員人権研修	・修学旅行(2学年) ・生徒指導講演会 ・芸術鑑賞会 ・普通救命講習 ・終業式講話	生活アンケート
1月		・始業式講話 ・道徳授業 ・小学校との交流事業 (まなびあい) ・ふれあい交流会 (浦和特別支援学校)	学校評価アンケート	
2月		・ロードレース大会 ・予餞会		
3月		・進路交流会 ・終業式講話		

	観察の視点	あてはまる 子の名前
朝の会	<input type="checkbox"/> 担任が来るまで廊下で待っている <input type="checkbox"/> 他の子どもより早く登校する <input type="checkbox"/> 理由のはっきりしない遅刻や欠席が多くなる <input type="checkbox"/> 担任のあいさつや出席確認のときに返事がない、または極端に小さい <input type="checkbox"/> 沈んだ表情や緊張した様子をしている	
授業の開始時及び授業	<input type="checkbox"/> 一人遅れて教室に入ってくる <input type="checkbox"/> 授業の始めに用具が散乱している <input type="checkbox"/> 忘れ物が多くなる <input type="checkbox"/> 班決めなどのとき、話し合いの輪に入れない <input type="checkbox"/> 係などを選ぶとき、その子の名前があがったり、ふざけ半分に推薦されたりする <input type="checkbox"/> ほめられると、嘲笑やからかい等が起こる <input type="checkbox"/> 正しい意見なのに冷やかされる <input type="checkbox"/> 発表回数が少なくなり、活発さがなくなる <input type="checkbox"/> 教室の掲示物や作品、机に落書きやいたずらをされる <input type="checkbox"/> その子への配布を嫌がる雰囲気がある <input type="checkbox"/> 実験などの後片付けをいつもやらされている <input type="checkbox"/> 道具や器具にさわらせてもらえず、順番がなかなか回ってこない <input type="checkbox"/> 音楽の授業で歌えなくなる <input type="checkbox"/> 内緒話をされている <input type="checkbox"/> 不自然に机や椅子が離されている <input type="checkbox"/> 不調を訴え、保健室に行くことが増える	
休み時間	<input type="checkbox"/> いつも一人でポツンとしている <input type="checkbox"/> 笑顔が見られずおどおどしている <input type="checkbox"/> 特に用事がないのによく職員室に来る <input type="checkbox"/> 移動教室のとき、荷物を持たされている <input type="checkbox"/> 格闘技ごっこなどでやられている <input type="checkbox"/> 保健室や相談室に来る回数が多くなる <input type="checkbox"/> 授業が始まっても教室に戻りたがらない	
給食時	<input type="checkbox"/> 机を寄せて席を作らない、または寄せても隙間がある <input type="checkbox"/> 食べ物にいたずらされる（意図的な配り忘れ、盛り付けの量の差など） <input type="checkbox"/> 給食を食べない、食欲がない <input type="checkbox"/> 早食い競争などをやらされている <input type="checkbox"/> 配膳を嫌がられている <input type="checkbox"/> いつも片付けをさせられている	
清掃時	<input type="checkbox"/> 一人黙々と清掃しているが、表情が暗い <input type="checkbox"/> 机や椅子が運ばれずに、放置されている <input type="checkbox"/> 衣服が汚れたり、ぬれたりしている <input type="checkbox"/> 清掃後、頻繁に授業に遅れてくる	

帰りの会	<input type="checkbox"/> 持ち物がなくなると、よく訴えに来る <input type="checkbox"/> 服が汚れていたり、破けていたりしている <input type="checkbox"/> 泣いている、または机に伏せたまましている <input type="checkbox"/> 自分の持ち物でないものを机やロッカー、カバンに入れている	
部活動・クラブ活動	<input type="checkbox"/> 参加しないことが多く、表情も暗い <input type="checkbox"/> 一人だけで、大変な仕事（準備や後片付け）をやらされている <input type="checkbox"/> ペアの練習で、いつも取り残される <input type="checkbox"/> 練習のふりをして、ボールを当てられたり、体当たりされたりしている <input type="checkbox"/> 他の部員から強い口調で注意されたり、使い走りにされたりしている <input type="checkbox"/> 辞めたいなどの訴えがある <input type="checkbox"/> 理由のはっきりしないけど、あざ、汚れがある <input type="checkbox"/> 道具を隠される <input type="checkbox"/> 孤立している	
放課後から下校時	<input type="checkbox"/> 急いで下校する、あるいはいつまでも学校に残っている <input type="checkbox"/> 机がひっくり返されたり、ロッカーが荒らされたりしている <input type="checkbox"/> いつも教師に相談したそうに寄って来る <input type="checkbox"/> 鞆や持ち物がなくなっている <input type="checkbox"/> ゴミ箱の中に持ち物や服等が捨てられている <input type="checkbox"/> 校舎内の柱や壁などに悪口や傷つくような内容の落書きをされている <input type="checkbox"/> 皆の荷物を持たされている <input type="checkbox"/> 遠回りして帰る <input type="checkbox"/> 一人で帰る	
学校生活全般	<input type="checkbox"/> 皆の嫌がる仕事や大変な仕事を押し付けられる <input type="checkbox"/> 一人で離れて仕事をしている <input type="checkbox"/> ふざけた雰囲気の中で、学級委員や班長に選ばれる <input type="checkbox"/> 無理に役員を押し付けられる <input type="checkbox"/> 宿題や集金などの提出物が遅れる <input type="checkbox"/> 一人の子の机や持ち物をさわろうとしない <input type="checkbox"/> 連絡帳、生活ノート、絵画作品等にかげりのある表現が見受けられる。	

いじめ早期発見のチェックポイント

ポイント：

- ① 該当する項目があれば、子どもに声を掛ける。
- ② 複数該当する項目があれば、学年等職員に相談する。



# 家庭用いじめ発見チェックシート



## 1 起床から登校前

お子さんのようすはいかがですか？	大丈夫	心配
◇布団からなかなか出てこなかったり、具合が悪そうである		
◇けだるそうな、疲れた表情である		
◇いつもと違って朝食を食べようとしめない		
◇ぼんやりしたり、ふさぎこんでいたりする		
◇学校に行くのを渋ったり、登校時の集合場所に行きたがらない		
◇いつも特定の子が無理やり迎えにくる		

## 2 登校中

お子さんのようすはいかがですか？	大丈夫	心配
◇友達の荷物を持たされている		
◇一人で登校するようになる		
◇繰り返しして登校している		
◇途中で家に戻ってくる		

## 3 帰宅時

お子さんのようすはいかがですか？	大丈夫	心配
◇服が汚れていたり、破れていたりする		
◇あざや擦り傷があってもその理由を言いたがらない		
◇すぐに自分の部屋に駆け込み、なかなか出てこない		
◇いつもより帰宅が遅い		
◇自転車や持ち物等が壊されている		
◇学校の話をしなくなる		
◇外出したからない		
◇道具や持ち物に落書きがある		

## 4 夕食時から就寝まで



お子さんのようすはいかがですか？	大丈夫	心配
◇食欲がない		
◇特定の友達に対する言葉遣いが不自然にしていぬいである		
◇友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいた友達と遊ばなくなったりする		
◇親と視線を合わせない		
◇お金の使い方が荒くなったり、無断で持ち出すようになる		
◇部屋にある持ち物がなくなっていく		
◇買いつめた覚えのない品物を持っている		
◇友達から頻繁に電話がかかってくる		
◇電話に出たがらない		
◇ノート等に「死ぬ」などの言葉が書かれている		
◇部屋に閉じこもりがちで、好きな趣味などにも興じなくなる		
◇成績が下がり、書く文字の筆圧が弱くなる		
◇家族の者と話をしなくなる		
◇いじめの話をすると強く否定する		
◇気力をなくしたり弟や妹をいじめるなど、急に乱暴になったり情緒不安定になる		
◇ボクシングや空手を習いたいと言いつ		
◇疲れた様子である		
◇なかなか寝つけられないようである		

### 保護者のみな様へ

お子さんの気持ちは、日々変わっています。晴れの日もあれば、雨の日もあります。学校であったことはもちろん、家庭でいろいろと話してみてください。本手エツクシートは、お子さんがいじめにあってるかどうかを知る手がかりとなるよう作られたものです。このチェツクシートをお子さんのようすをみてください。心配なことは、学校の先生へお話しください。



平成19年10月

埼玉県教育委員会